

# 平成 28 年度 加茂市外国語活動部 活動報告

部長 青柳 幹男

## 1 研究主題

小中連携を深める取組を進め、小学校外国語の教科化を踏まえた小中学校の外国語の指導方法を学ぶ。

## 2 研究の概要

昨年度から、小学校の外国語活動部と中学校の英語部が合併されて「外国語活動部」となり、今年で2年目である。そこで、中学校区でより連携を深めるための取組を強化した。また、2020年度に小学校5、6年で外国語が教科化、3、4年で外国語活動の実施が予定されていることを踏まえて、その準備や指導方法や評価の在り方について、次の研修を行った。

実施日時	事業	内容	会場
5月16日	講義	●今年度の研究テーマ、研究方法の検討	加茂市立石川小学校
8月25日	研修 講演	●中学校区単位での進捗状況の確認 ●英語のリスニング、文字指導について	加茂市立須田中学校

## 3 研究の実際

(1) 5月16日 第1回英語研修会 指導者 須田中学校長 有本 千晴 様

### ① 中学校区における小中連携計画

小中学校の教員が、「単元や授業のねらいを踏まえて、何をどのように教えるか」を、授業を参観して確認することが出発点である。

また、中学校入門期で英語を苦手にしたために、中学校で「読むこと」「書くこと」で文字を扱うことへの抵抗感をなくす手立てを考えて指導することが大切である。

### ② 連携のための共通理解

各中学校で作成した CAN-DO リストの活用及び児童生徒の意欲を高めるための手立て等

(2) 8月25日 第2回英語研修会

### ① 中学校区単位での協議会

各中学校区のグループで、ALT をどのように授業で活用しているかを紹介し合い、小学校、中学校それぞれの授業の様子について情報を交換した。また、各小学校の外国語の年間指導計画や各中学校の CAN-DO リストを交換して、小学校外国語の教科化に向けた準備を進めるために必要なことなどを話し合った。

### ② 講演会 講師 新潟大学教育学部 教授 加藤 茂夫様

演題「外国語活動におけるリスニング指導と中学校での文字・綴り導入時の指導」

加藤教授から、日本人がなぜ英語のリスニングが苦手なのかを、多様な例示と「ミラーニューロン」などの専門的な知識をもとに御指導いただいた。また、英語の発音の注意点として、日本語と英語の発音の違いや、乳幼児期からの言語習得のプロセスを踏まえて、英語を聞き取ることができるためのトレーニングを具体的に教えていただいた。

## 4 成果と課題

中学校区の外国語活動担当教員、英語教員が各校の年間指導計画や CAN-DO リストを見ながら、学習意欲の向上や学力について具体的な指導や手立てを考えるとともに、外国語教育における小中の接続の大切さと役割を知ることができた。

さらに、児童が中学校で英語を学習するときまでに、どのような力を身に付けておかなければならないのかも理解することができた。

今後も、引き続き連携を強化していく必要があることを実感した。